



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月30日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4552 URL <https://www.jcrpharm.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員経営戦略本部長 (氏名) 伊藤 洋 TEL 0797(32)1995
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	8,145	△24.6	△296	—	△257	—	201	△87.5
2024年3月期第1四半期	10,808	12.5	2,066	34.5	2,260	8.5	1,610	17.7

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 441百万円 (△75.4%) 2024年3月期第1四半期 1,789百万円 (30.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	1.61	1.61
2024年3月期第1四半期	12.91	12.85

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	104,165	55,674	52.4
2024年3月期	102,226	56,475	54.2

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 54,542百万円 2024年3月期 55,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	41,300	△3.7	5,400	△28.3	4,600	△36.7	3,700	△32.8	29.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2025年3月期1Q	129,686,308株	2024年3月期	129,686,308株
2025年3月期1Q	4,861,414株	2024年3月期	4,881,914株
2025年3月期1Q	124,813,769株	2024年3月期1Q	124,782,090株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

①当期の経営成績

売上高は81億45百万円（前年同期比24.6%減）となりました。

遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト[®]」は、2024年4月に薬価改定がありましたが、販売数量が大きく増加し、「イズカーゴ[®]点滴静注用10mg」も好調に推移しました。一方で、契約金収入および受託製造売上が減少したことなどにより、前年同期に比べて減収となりました。

また、積極的な研究開発活動の結果、研究開発費は38.4%増加し31億75百万円（前年同期比8億81百万円増）となりました。

これらの結果、2億96百万円の営業損失（前年同期は20億66百万円の営業利益）、2億57百万円の経常損失（前年同期は22億60百万円の経常利益）が発生しております。一方で、契約解約に伴う特別利益の発生などにより、2億1百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期比87.5%減）を計上しておりますが、いずれも前年同期に比べて減益となりました。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
売上高	10,808	8,145	△24.6
営業利益又は営業損失(△)	2,066	△296	—
経常利益又は経常損失(△)	2,260	△257	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,610	201	△87.5

②主な売上

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	増減
	金額(百万円)	金額(百万円)	%
ヒト成長ホルモン製剤 グロウジェクト [®]	4,222	4,649	10.1
ムコ多糖症Ⅱ型治療剤 イズカーゴ [®] 点滴静注用	1,214	1,372	13.0
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注「JCR」	1,615	907	△43.8
ダルベポエチンアルファBS注「JCR」	602	515	△14.5
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	1,012	392	△61.3
再生医療等製品 テムセル [®] HS注	1,063	730	△31.4
ファブリー病治療薬 アガルシダーゼベータBS点滴静注「JCR」	471	277	△41.2
契約金収入	1,612	15	△99.0

③研究開発の状況

[ライソゾーム病治療薬]

- ・当社では現在、17種類を超えるライソゾーム病治療薬について、独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」を適用した新薬の研究開発に重点的に取り組んでおります。
- ・血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤pabinafusp alfa（開発番号：JR-141）については、現在、グローバル臨床第3相試験が進行中であります。また、いわゆる軽症型の患者さんを対象としたCohort Bについて、目標としていた20例の症例登録が完了し、より重症な患者さんを対象としたCohort Aにおいても、60%以上の症例登録が完了いたしました。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症Ⅰ型治療酵素製剤lepunafusp alfa（開発番号：JR-171）については、現在、日本・ブラジル・米国での13週間の臨床第1/2相試験を完了し、その継続試験を実施しております。また、当該品目については、自社開発ではなくライセンスアウトにより開発を進める方針であり、パートナー候補との導出交渉を進めております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢA型治療酵素製剤（開発番号：JR-441）については、ドイツにて臨床第1/2相試験が進行中であります。また、2024年上半期に、予定していた12名の症例登録を完了いたしました。なお、2023年12月には、米国において米国食品医薬品局（FDA）よりオーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）の指定を受けております。
- ・血液脳関門通過型ムコ多糖症ⅢB型治療酵素製剤（開発番号：JR-446）については、2023年9月に株式会社メディパルホールディングスと、海外における事業化についての実施許諾契約および日本における共同開発・商業化契約を締結いたしました。また、2024年5月に提出した治験計画届が医薬品医療機器総合機構に受理され、現在、臨床第1/2相試験の開始に向けた準備を進めております。
- ・その他のJ-Brain Cargo[®]を適用したライソゾーム病治療薬であるフコシドーシス治療薬（開発番号：JR-471）については、2022年10月に締結した実施許諾契約に基づき、株式会社メディパルホールディングスに対し、日本を除く全世界における研究・開発、製造および販売などの事業化に関する再実施許諾権付の独占の実施権を許諾いたしました。現在、臨床試験開始に向けた必要な研究等を進めております。

[基盤技術の創出]

- ・JCR独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo[®]」の様々なモダリティへの応用可能性を広げる研究の他、J-Brain Cargo[®]技術に続く新たな基盤技術の創出に注力しております。その成果のひとつとして、J-Brain Cargo[®]技術を適用した新しい遺伝子治療技術について、2024年5月に公表を行いました。こちらは、アデノ随伴ウイルスにJ-Brain Cargo[®]を修飾することで、肝臓への取り込みを低減して脳へと効率的にベクターを送達できる遺伝子治療技術であり、新たなプラットフォーム技術として開発を進めております。

[再生医療等製品]

- ・「テムセル[®]HS注」の新たな適応拡大として新生児低酸素性虚血性脳症（開発番号：JR-031HIE）に対する開発を進めてきましたが、臨床第1/2相試験において期待していた有効性を示すことができなかったことを踏まえ、当開発の中止を決定いたしました。

[ヒト成長ホルモン製剤]

- ・長時間作用型遺伝子組換えヒト成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）の臨床第2相試験の継続試験を実施中であり、また、2024年7月に臨床第3相試験の治験計画届が医薬品医療機器総合機構に受理され、現在、試験開始に向けた準備を進めております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,041億65百万円（前連結会計年度末比19億39百万円増）、負債合計は484億91百万円（前連結会計年度末比27億40百万円増）、純資産合計は556億74百万円（前連結会計年度末比8億1百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金および売掛金及び契約資産が減少した一方で、棚卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ2億46百万円増加して578億28百万円となりました。固定資産については、有形固定資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ16億92百万円増加して463億37百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等が減少した一方で、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ27億38百万円増加して328億74百万円となりました。固定負債は、前連結会計年度末とほぼ同水準の156億17百万円となりました。

純資産については、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上があった一方で、配当金の支払があったことなどにより、前連結会計年度末に比べ8億1百万円減少して556億74百万円となりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ1.8ポイント低下して52.4%となりました。

当社グループがグローバルで持続的な成長を行うため、機動的かつ安定的に資金調達手段を確保する必要があるため、各金融機関との間で、バックアップラインとして運転資金を確保する事を目的として、総額495億円のコミットメントライン契約を締結しております。

なお、このうち265億円については、新製剤工場の建設に関する資金調達のために締結したものであります。この新製剤工場の建設は、経済産業省「ワクチン生産体制強化のためのバイオ医薬品製造拠点等整備事業」に採択されており、同事業における補助金を用いて当該建設を行います。当コミットメントライン契約につきましては、補助金受領までの必要資金に充当することを目的としたものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結経営成績は前年同期比で減収減益となりましたが、これは期初予想通りの傾向であり、2025年3月期の業績予想に関しましては、2024年5月10日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,756	18,337
売掛金及び契約資産	14,934	14,056
商品及び製品	2,111	2,404
仕掛品	6,220	6,908
原材料及び貯蔵品	12,602	12,960
その他	2,955	3,161
流動資産合計	57,581	57,828
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	14,140	13,907
土地	10,587	10,587
建設仮勘定	171	2,335
その他(純額)	5,141	4,899
有形固定資産合計	30,040	31,730
無形固定資産		
特許権	2,158	2,088
その他	1,338	1,281
無形固定資産合計	3,496	3,370
投資その他の資産		
投資有価証券	9,120	9,092
その他	1,991	2,148
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	11,107	11,237
固定資産合計	44,644	46,337
資産合計	102,226	104,165
負債の部		
流動負債		
買掛金	890	857
短期借入金	8,950	13,870
未払法人税等	1,657	216
圧縮未決算特別勘定	11,996	11,996
賞与引当金	1,016	1,596
役員賞与引当金	114	146
その他	5,510	4,189
流動負債合計	30,135	32,874
固定負債		
長期借入金	14,350	14,350
従業員株式給付引当金	81	100
退職給付に係る負債	903	918
その他	280	248
固定負債合計	15,615	15,617
負債合計	45,750	48,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,384	10,384
利益剰余金	37,278	36,227
自己株式	△2,963	△2,952
株主資本合計	53,761	52,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	741	732
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	731	962
退職給付に係る調整累計額	132	126
その他の包括利益累計額合計	1,604	1,821
新株予約権	812	812
非支配株主持分	297	318
純資産合計	56,475	55,674
負債純資産合計	102,226	104,165

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	10,808	8,145
売上原価	3,363	2,073
売上総利益	7,445	6,072
販売費及び一般管理費	5,379	6,368
営業利益又は営業損失(△)	2,066	△296
営業外収益		
受取利息	0	27
受取配当金	13	17
為替差益	484	435
その他	21	24
営業外収益合計	520	505
営業外費用		
持分法による投資損失	297	200
支払利息	19	26
支払手数料	2	17
減価償却費	—	214
その他	6	6
営業外費用合計	326	466
経常利益又は経常損失(△)	2,260	△257
特別利益		
契約解約益	—	627
特別利益合計	—	627
特別損失		
固定資産処分損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	2,260	369
法人税、住民税及び事業税	1,122	230
法人税等調整額	△469	△65
法人税等合計	653	164
四半期純利益	1,607	204
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,610	201

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,607	204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	△9
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	35	98
退職給付に係る調整額	2	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	75	151
その他の包括利益合計	181	236
四半期包括利益	1,789	441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,789	418
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは「医薬品事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	511百万円	826百万円